

# 令和5年度 プラチナ cafe 事業報告

## 1. 目的

多様化する労働環境や高齢化が進む将来に向けて、看護職が定年後もプラチナナースとして自分らしく働き続けるために、自己のキャリア形成や働き方について考え、ライフプランのセルフプロデュースの一助となる事を目指す。

## 2. 日時

- ①令和5年6月29日(木)、②令和5年10月5日(木)、③令和6年2月1日(木)  
13:00 受付 (13:30~15:30)

## 3. 会場

宮崎県看護協会 看護等研修センター (宮崎市学園木花台西2丁目4-6)

## 4. 対象者

セカンドキャリアを考える看護職 (概ね40歳以上) \*就業中・未就業不問

## 5. 定員

10名程度

## 6. プログラム

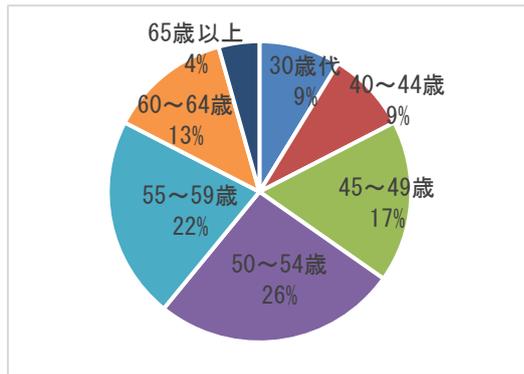
時間	内容	ねらい
13:00~	受付	
13:30~	センター長あいさつ	
13:35~	プラチナカフェ 80分 1) 6月コース ミニ講座：資産運用について ~株式・債券・投資信託・NISA・iDeCoのはなし~ 講師：宮崎県金融広報委員会 富賀見 美幸 氏 2) 10月コース プラチナナースの体験談 ゲスト：源藤の里こころ 管理者 高橋陽子 氏 3) 2月コース ミニ講座：40代からのマネープラン 講師：宮崎県金融広報委員会 FP 二宮清子 氏	1)6月/2月コース 金融リテラシーを身につけることで、ライフプランを具体的にイメージすることができ、自己のキャリア形成や働き方についても考えるきっかけとなる。  2) 10月コース 将来の仕事・働き方についての不安や悩みの解決の糸口を見つけ、自己のキャリア形成のヒントを得る。
15:00~	交流会 30分 プラチナナース活躍に対する不安や悩みを共有しよう→解決の糸口を見つけよう	自己のキャリア形成や働き方について考えるきっかけをつくる
15:30~	終わりの挨拶/アンケート記入→希望者には個別面談	

## 7. 結果

### 1) 受講者数と受講生の背景

		受講者数	平均年齢 (年齢層)	未就業	就業中
全体		23人	52.1歳 (34歳~65歳)	18人 (78.2%)	5人 (21.7%)
コース別の背景	6月コース	7人	49.6歳 (38歳~59歳)	5人	2人
	10月コース	5人	55.6歳 (40歳~64歳)	4人	1人
	2月コース	11人	51.8歳 (34歳~65歳)	9人	2人

## 2) 年齢分布



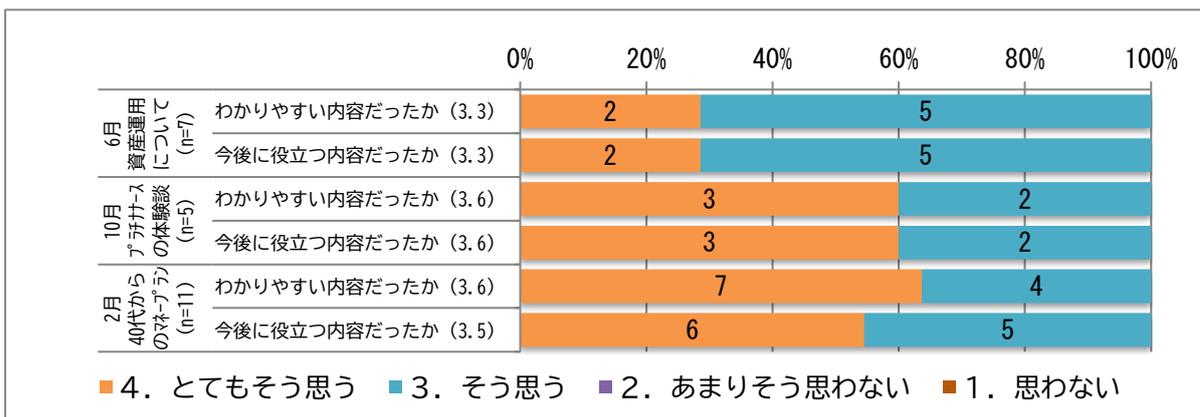
## 8. アンケート結果

### 1) 評価方法

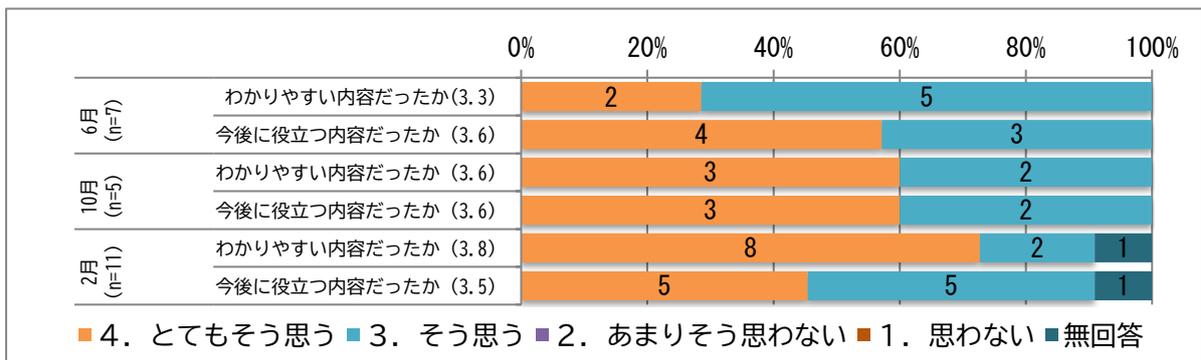
各回アンケート調査を実施。研修の満足度の評価項目を「研修、交流会についての理解度」、「役立つ情報だったか」とし、4段階評価尺度で評価した。

アンケート結果：アンケート回収数 23 (回収率：100%) ※3 コース参加者合計 23 名を対象

#### (1) 講義の理解度・満足度 \* ( ) 内は、各項目の4段階評価の平均点を示す



#### (2) 交流会の理解度・満足度 \* ( ) 内は、各項目の4段階評価の平均点を示す



#### (3) 感想 (自由記載) ※一部抜粋

##### 【6月コース】

- ・これからの転職を考えるにあたってとても参考になった。
- ・自分の変化を楽しみ、前向けにとらえていけるように、考え方を少しでも変えていければと思う。

・金融商品名は聞いたことはあったが、具体的に聞くことができ理解できた。できることから始めてみたいと思う。就職活動も自分のペースで進めていきたい。

#### 【10月コース】

・就活は1人で自分を見つめる時間が苦痛で落ち込むばかりだった。皆さんの話を聞いて前向きな気持ちになれた。楽しい時間になった。

・人数が少なくてもったいない感じがしましたが、皆さんのホンネが聞いて情報を得ることができた。

・自分の今の気持ちを再確認することができ、整理することができた。参加してよかった。

・少人数での開催という事で、雰囲気も良かった。NCや講師の話はとても参考になった。

・気分転換になった。就職活動頑張ります。参加者にいい仕事が見つかるといいなと思う。

#### 【2月コース】

・協会で、看護以外のことを研修で取り扱って頂けるのはありがたい。社会情勢に合わせた関心の持てる研修・講義の機会を作っていただいて勉強になった。自分の生き方を改めて考える良い機会となった。

・老後の不安が軽減した。自分で勉強して理解し、わからないことを克服し実施する必要があると学んだ。考えるいい機会となった。

・今後のマネープランについてしっかりと見直すきっかけとなった。

・新NISA、iDaCoなど知らなかったなので、話を聞くことができよかった。老後のことを考えたことがなかったので、話を聞いてお金を貯めようと思った。まずは家計簿をつけようと思った。

・税や資金の事、自分の収支を見直して老後破産しないように気を付けようと思った。

・自分の資産を明確にし、資産が死後どうなるのか今のうちに遺言を残す必要性を感じた。

### 3) まとめ

定年退職後の看護職の活躍推進のため、平成28年度から「セカンドキャリア」に関する事業を開始した。今年度は、看護職が定年後もプラチナナースとして活躍できるよう、自己のキャリア形成や働き方について考え、ライフプランのセルフプロデュースの一助となる事を目的に、プラチナcaféを開催した。参加者同士の交流会を通してお互いの考えを参考にし、新たな発想につながることを期待しミニ講座形式で年3回の開催とした。

受講生の平均年齢は52.1歳で、約8割が未就業であった。「講義、交流会のわかりやすさ、今後に役立つ内容か」については、おおむね「とてもそう思う・そう思う」という結果となった。自由記載の感想では、「自分の今の気持ちを再確認することができ、整理することができた。」「マネープランについて考えるきっかけとなった」等の意見があった。これらの結果より、本研修に対する評価は高く、研修内容が今後の働き方・生き方について考えるいい機会となったと推察する。

令和5年10月、看護師等の人材確保の促進に関する法律の基本指針が改訂された。看護師等の就業促進については、労働人口が減少する中で、増大する看護ニーズに対応していくためには、看護師等の確保に向けて、新規養成・復職支援・定着促進を三本柱にした取組を推進していくことが重要、とあり、また高年齢者である看護師等の就業推進が必要、とある。その観点からも、プラチナナースは看護を支える重要なメンバーとして活躍を推進することは今後も重要である

と考える。

プラチナナースとしてやりがいを持って働き続けるためには、看護職一人ひとりができるだけ早い段階から「どう働くか」と「どう生きるか」というライフプランを明確にし、将来を見据えた経験を積み重ねることが重要となる。また、職場もその準備の機会を提供し、共に働くための環境整備をすることで、プラチナナースの活躍はますます高まっていくと考える。

ナースセンターでは、これらの情報を随時提供・提案し、看護職人材の確保と職場定着支援の役割を果たしていきたい。

## 9. 当日の様子

	講義の様子	交流会の様子
6月コース	 A photograph showing a lecture for the June course. A woman in a white jacket is standing at the front of a classroom, presenting to a group of students seated at desks. A projector screen displays the title "看護職用と読者の動機" (Motivation for Nursing Professionals and Readers).	 A photograph showing an exchange meeting for the June course. Several people are seated around a long table in a room with large windows and green curtains, engaged in conversation.
10月コース	 A photograph showing a lecture for the October course. A woman is presenting to a group of students seated at desks. The projector screen displays the title "社会福祉法人 関東会 活動の里こころ" (Heart of Activities of Kansai Kai Social Welfare Corporation).	 A photograph showing an exchange meeting for the October course. A group of people are seated around a table, talking and looking at documents.
2月コース	 A photograph showing a lecture for the February course. A woman is presenting to a group of students seated at desks. The projector screen displays a list of topics.	 A photograph showing an exchange meeting for the February course. A group of people are seated around a table, talking and looking at documents.